



**超高齢社会を生きる  
観音山丘陵のサクラ**

白石隆夫  
(新風会)



**質問** 高齢者を豊かで自分らしく生きる事が重要だが、健康寿命を延ばすための取り組みは。  
**答弁** 高崎市第2次健康増進計画では、健康寿命の延伸に向け、運動、減塩、健康診断の受診を市民の行動目標とし、自ら健康づくりに積極的に取り組めるよう事業を実施している。本市では、糖尿病などの保健指導が必要な人が多いため、運動を習慣化する取り組みを一層推進していく。また、食塩摂取量が目標値よりも高いため、出前講座などで減塩に取り組んでいる。



**支所ぐるりを廃止し、  
既存タクシー会社と連携を**

木村純章  
(市民クラブ)



**質問** 箕郷地域のぐるりんの経費は、乗客1人当たり7870円かかる計算である。前橋市はマイタクという委託事業を始めだが、支所地域のぐるりんを廃止し、タクシー会社と連携した乗り合いタクシーなどの取り組みを早急に対応いただきたい。  
**答弁** マイタクは当初の予想を上回る利用状況と聞いている。本市では公共交通空白地に限定し、先進事例を研究しており、

押しする制度導入について先進事例の情報収集に努めたい。  
**質問** いじめや給食費問題などに、イギリスの家庭と学校の契約制度を採用できないか。



**学校教育における職場体験  
国保税の引き下げ**

田村理  
(日本共産党)



**質問** やるベンチャーウィークの問題点として、カリキュラムに支障を来す、受け入れ先の確保が容易でない、事業所での体験内容を学校が把握できていないなどがあるが、どう考えるか。  
**答弁** 本事業は、年間指導計画に位置付けられ、カリキュラム内で実施している。受け入れ先の確保は、中学校が努力している。また、教員が実施前や実施中に各事業所を訪問し、体験内



体操で健康寿命の延伸を

**答弁** いじめ防止プログラムは、イギリスに行き、その部分も学び作成した。給食費滞納には、契約に基づく発想も入れ、期限内の納入をお願いしていきたい。容などの把握に努めている。  
**質問** 自衛隊群馬地方協力本部のホームページに、生徒がミサイルを追随して撃ち落とす訓練をしているような写真があったが、実際に行われたのか。今後自衛隊での職場体験を継続させるのか。  
**答弁** 生徒の報告書を校長が確認したが、心配する内容の記述はなかった。国の安全保障や防災支援をしている自衛隊での職場体験学習は意義があると考えており、引き続き実施していく。  
**質問** 国保基金残高は、平成27年度末で32億8000万円ある。国保税を引き下げられないか。  
**答弁** 国保税の引き下げは今後の医療費の動向、決算状況や30年度から県へ納める国保事業費納付金の見込みなど、総合的な観点から対応したい。



**浜川運動公園拡張  
フリーWi-Fi**

時田裕之  
(新風会)



**質問** 浜川運動公園拡張の現在の進捗状況は。  
**答弁** 平成27年3月に拡張区域を都市計画決定し、現在、約92%の用地を取得している。また、浜川運動公園の正面側から拡張部分へ連絡する園路工事に着手しており、拡張部分は文化財調査が完了したエリアより順次、盛り土の造成工事を進めている。  
**質問** フリーWi-Fiのエリアを拡大する考えは。また、中心市街地でのサービス提供には、どの程度費用がかかるのか。  
**答弁** 4月開館の高崎アリーナにも設置の予定である。今後、費用対効果を見ながら公共施設



**国内外からの来訪者への対応  
高橋美奈雄**

町内会の行政協力  
(市民クラブ)



**質問** 高崎アリーナで開催された国際合気道大会時、中心市街地は外国人で賑わいを見せた。この状況の分析と今後の対応は。  
**答弁** 飲食店では、観光協会配布の多言語対応シートが役に立ったようだが、来訪が早く分かればより準備ができたとの意見もあった。また、バスやタクシーは、観音山周辺への利用が多かったが、乗降や支払いシステムの多言語表記がなく、対応に苦慮したようである。今後は、駅観光案内所に外国語対応のスタッフを配置し、市民や店舗等への迅速な情報提供に努めたい。



**ジェンダー・パイアス  
補助金のあり方**

三島久美子  
(無所属)



**質問** 男女共同参画計画に男女混合名簿の全面導入がある。本市の現状と今後の取り組みは。  
**答弁** 男女混合名簿の導入は、幼稚園が87.5%、小学校が98.3%、中学校が28%、特別支援学校が100%である。中学校は、男女別の学習形態や入試への成績処理のため、導入率が低い。今後、男女共同参画計画を踏まえ対応したい。

**質問** アプリを開発できないか。  
**答弁** 街中情報を発信するスマートフォン用サイトを観光協会やラジオ高崎と連携し開設している。アプリの有効性やニーズの調査研究を進め、来訪者の利便性向上と誘客促進に努めたい。  
**質問** 町内会は独立した自治組織であって、市の下部組織ではない。配布書類は部局で整理し、効率化を図るべきだが、見解は。  
**答弁** 住み慣れた地域での生活は支え合いが必要であり、町内会はその中核を担っている。配布資料については、改めて配布の必要性や回数、地域を見直しの必要を区長の負担軽減を図りたい。

**質問** 中央銀座アーケード再生  
**質問** 文化芸術センター(仮



家庭科の授業で男女一緒に調理実習



**交通弱者対策  
子どもの貧困対策**

依田好明  
(日本共産党)



**質問** 千葉県柏市では、オンデマンドタクシーが交通不便な地域で成果を上げている。交通弱者対策としてオンデマンドタクシーが有効と思うが、考えは。  
**答弁** ぐるりんなどのコミュニティバスや倉敷地域のせせらぎ号、福祉タクシーチケット制度など、高齢者をはじめ交通弱者の移動手段の確保に努めている。オンデマンドタクシーについては、「処方箋」の一つとし

**質問** 千葉県柏市では、オンデマンドタクシーが交通不便な地域で成果を上げている。交通弱者対策としてオンデマンドタクシーが有効と思うが、考えは。  
**答弁** 生活保護や就学援助等生活支援を行っているが、貧困の要因が多層化していることや支援対象の子どもの家庭に限定したアプローチが難しいなどの問題点もある。今後も子どもの貧困に特化した対策等については、国の動向を注視し、さまざまな角度から研究していく。  
**質問** 学校給食費無料化が県内都市部にも広がっているが、本市でも部分的に実施できないか。  
**答弁** 学校給食費は、学校給食法の規定により食材費の保護者負担が明記されている。本市では、今後もこの法令に沿った対応をしていく。経済的理由で支払いが厳しい場合は、就学援助等の支援を実施している。



**残土条例制定後の残土処理  
耕作放棄地対策**

追川徳信  
(新風会)



**質問** 鼻高町に大量の土砂が搬入され、土砂災害の危険性から残土条例を制定した経緯がある。現在の状況と安全対策は。  
**答弁** 平成28年1月、搬入業者らに土砂の撤去命令を出したが、履行されず、市が撤去を行った。その後現在まで降雨時も安定した状態である。工事費等は搬入業者や土地所有者に請求する。また、定期点検や台風時の監視確認などの体制を整えている。  
**質問** 耕作放棄地が急速に拡大している。原因と面積の推移は。  
**答弁** 高齢者のリタイアや担い手不足、相続による土地持ち非農家の増加が挙げられる。また、

有害鳥獣被害によるケースもある。推移は、平成23年度543ヘクタール、昨年度618ヘクタールで約14%の増加となった。  
**質問** 山梨県北杜市では、市が個々の土地をまとめ、広い土地にし、大規模な農業法人へ貸し出している。耕作放棄地や有害鳥獣の減少、雇用の拡大が図れるが、本市で取り組む考えは。  
**答弁** 企業の農業参入は、農地の利用に期待される事例である。本市にも数社から問い合わせがあるが、具体的な事業開始には至っていない。引き続き情報発信と収集に努め、多様な事業展開ができるよう取り組んでいく。